

南奥駈道(玉置山↓21世紀の森)B組の安全点検巡視

◇ 実施日：平成26年3月23日(日) 快晴

◇ 参加者：沖崎吉信、生熊敏男、畑林秀味、濱野兼吉、

松本吉殖、阪口秩臣、奥村順夫、大江加予子

大江徳子、畑林清子

計10名。

ビジター組：長野広和、長野とし子、松本 栄、山本容子

石田さかえ、中前余志子、瀬田曾我子、平さん。8名。

◇ 倒木処理数：杉・松(直径25cm前後)8本(チェーンソー処理)

直径10cm未満の主に雑木15本(鋸処理)

A組は、玉置辻↓本宮備崎。我々B組は玉置山↓21世紀の森を担当する。新宮山彦ぐるーぶ10名、ビジター者は8名、計18名の大世界である。

玉置辻(本宮辻)でA組9名を見送り、21世紀の森へ3台デポし、玉置神社駐車場9時前には、ビジター組も集合し出発する。

駐車場よりストレートに奥駈道に入っても、下山後備崎でA組の待ち時間を考えると、少々行動時間を延ばす必要があるのですが、玉置神社に立寄り山行と作業の安全祈願を行う。

宝冠の森分岐、玉置山山頂(一等三角点:1076.4m)を経由して大峰奥駈道へ入る。駐車場からだ通常10分で済むところを約1時間かかった。

平成23年・台風12号による倒木処理の時、この区間を担当した。玉置山山頂からかつえ坂入口間は、ブナなどの自然林で、

かつえ坂入口から21世紀の森の間は、大半が杉松の人工林となっている。前回、自然林内でもかなりの落枝があって、人工林内はほぼ無傷であった。今年2月中旬の大雪による雪害が予想されることから、今回も同様と思いきや、自然林内には全く落ちた枝もない、きれいなもんだ。

玉置山へ来る途中で、川島代表から2月の大雪による雪害はあと思うが、尾根道は風が強く着雪は少ないはず、従って折れた枝、落ちた枝は少ないと思うと話された通りだ。

今回畑林氏の口聞きで松本、阪口さんが参加された。

松本さんは、スチール(ドイツ製のチェーンソー)を持参して下さり、阪口さんが背負子に付けてくれていた。

林道、山道、林道と倒木は無しに越したことはないが、一本も無いではさびしいなどと思いつながら歩を進めるも、どうもチェーンソーの出番はなさそうだと思つた矢先、かつえ坂近くで直径25cm位の杉が倒れこんでいて、早速処理にかかる。

チェーンソーの操作は、生熊・松本さんをお願いし、他の人は枝を落したり、切った木を邪魔にならない様に道下に避ける。

又、何人かに先行してもらい先の状況を確認するなど、手分けして対応した。その後も5箇所20〜30cm位の倒木8本の処理と10cm未満の倒木15本を鋸処理した。

21世紀の森へは、予定より1時間強遅れの14時過ぎに着く。デポしていた奥村、大江、沖崎車の3台に18人が乗込み、玉置神社駐車場へ。

此処でビジターの皆さんに自慢することでも、ご披露することでもないが、陰で裏でこう云う活動をしていることもご理解頂け

ればと挨拶し、ビジター組と別れる。

A組に体調不良者が出れば、山在峠等に出迎えるつもりで本宮へ。

A組と15時前に連絡が取れ、少し送れているが全員山在峠を通過したことが分かる。15時半過ぎに備崎16時着は無理七越峰森林公園に車を回送してくれるの連絡が入る。

A組8名は、車に荷を積み空身で備崎へと下る。備崎河原に移動し約30分待機。河原で山行無事終了と各コースの概略説明、無事帰宅するように注意喚起をして17時解散。

・今回の区間では、特に花折塚前後に倒木が多く、地盤が弱いのか、風の通り道なのか判らないが、台風季節後の10～11月頃に点検する必要がある。

(記・沖崎)



チェーンソーで倒木切断中



倒木・小切り前の枝払い



鋸で倒木の枝落とし